

平成30年度 指導方法等の改善計画について【国語】

海田町立海田小学校

全国学力・学習状況調査 本年度正答率(本校78%, 県67.4%, 国64.3%)		本年度の結果について	
<p>国語A</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>— 本校 — 県 (公立) — 国 (公立)</p>	<p>国語B</p> <p>話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項</p> <p>— 本校 — 県 (公立) — 国 (公立)</p>	<p>○全体的な傾向について</p> <p>A問題82%, B問題72%の正答率で、全国平均をA問題は11%, B問題は17%, 県平均をA問題は9%, B問題は、13%上回った。このことから、基礎的基本的な事項に関しては、一定の学力の定着が見られた。活用力も向上した。しかし、文の中で漢字を扱う力や目的や意図に応じて書く力に課題がある。</p> <p>○昨年度の課題への取組の成果</p> <p>昨年度、「基礎・基本」定着状況調査では、「読むこと」において場面の移り変わりに注意することに課題があったが、目的に応じて本などを選んで読ませることや、文章を的確に押さえる指導を行ったことで読む力が向上した。</p>	

重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
<p>【課題1】「読むこと→書くこと」 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして詳しく書くことに課題が見られた。特に、指定された資料の中から必要な情報を取り出す力に課題が見られた。(通過率27.3%)</p> <p>【課題2】 文の中で適切な漢字を使うことに課題があった。管理(通過率65.2%) 積極的(通過率31.5%)</p>	<p>○目的や意図をもって資料を読み、必要な情報を関連づけた上で条件に合わせて書く活動を単元の中で仕組んでいく。単元の振り返りなどでは、キーワードや内容に関わる条件に合わせて意図に応じて書けるようにする。</p> <p>○新出漢字の学習の際には、どのような使い方があるのか短文を作り、ペアなどで交流する学習を取り入れる。</p>	<p>視点を与えた 振り返り</p> <p>短文づくりで 新出漢字学習</p>

平成31年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
<p>A問題【85】 話すこと・聞くこと:85 書くこと:85 読むこと:90</p> <p>伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項:80</p> <p>B問題【73】 話すこと・聞くこと:80 書くこと:70 読むこと:70</p> <p>伝統的な言語文化と国語の</p>

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 CRT	5年生全国学力類似問題	5・6年生 学年末テスト・NRT
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	A問題80% B問題70%	85・全国平均を上回る
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	5・6年生 類似問題小テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 単元末テスト	5・6年生 学期末テスト	5・6年生 CRT	5年生全国学力類似問題	5・6年生 学年末テスト・NRT
目標値	80%	80%	80%	80%	80%	A問題80%	85・全国平均を上回る
実施後数値							

